

古代②「日本文化のあけぼの」

基本事項の確認

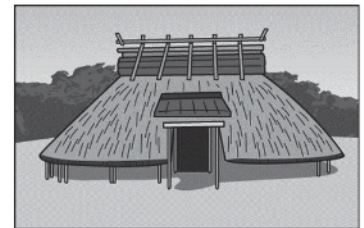
🕒 10分

1. 旧石器時代

- (1) 日本の旧石器時代には、地球全体が寒冷な気候の時期が長く続いた。この地球全体が寒冷であった時代を何時代というか。 [1]
- (2) 旧石器時代に用いられた、石を打ち欠いてつくっただけの石器を何というか。 [2]
- (3) 次の説明にあてはまる遺跡などを何というか。
- ① (2)の石器が2万年以上前の地層から発見され、日本に旧石器時代があったことがはじめて明らかになった群馬県にある遺跡。 [3]
- ② ナウマンゾウやオオツノジカの化石が発見されたことで有名な、長野県北部にある湖。 [4]

2. 縄文時代

- (1) 表面をみがいて、あつかいやしくした石器を何というか。 [5]
- (2) 縄文時代に、祈りや魔よけに使われたと考えられる、土製の人形を何というか。 [6]
- (3) 縄文時代の人々が食べ物の残りかすなどを捨てた共同のごみ捨て場を何というか。 [7]
- (4) 右の図は、縄文時代の人々がくらしていた住居を復元したものを表している。この住居を何というか。 [8]
- (5) 直径約1mの柱の穴のあとが発見され、巨大な建物があつたと考えられる、青森県にある縄文時代の遺跡を何というか。 [9]



3. 弥生時代

- (1) 右の図は、弥生時代に祭りのときの宝物として用いられたと考えられる青銅器を表している。この青銅器を何というか。 [10]
- (2) 弥生時代に稲作で用いられた、稲の穂をかり取るための石でできた道具を何というか。 [11]
- (3) 右下の図は、弥生時代に、収穫した稲の穂をたくわえるためにつくられた倉庫を表している。この倉庫を何というか。 [12]
- (4) 二重のほりに囲まれた大規模な集落のあとで、見張りのための物見やぐらなどが復元されている、佐賀県にある弥生時代の遺跡を何というか。 [13]



次ページにつづく▶▶▶

4. 国々の誕生

- (1) 紀元前 4 世紀ごろから 3 世紀にかけて続いた時代に、稲作が各地に広まった。吉野ヶ里遺跡が代表的な遺跡として知られる、この時代を何時代というか。 [14]
- (2) 1 世紀に、日本にあった小国の王が漢（後漢）に使いを送り、金印を授けられた。これについて、次の問いに答えなさい。
- ① 使いを送ったのは、何という国の王か。 [15]
- ② この金印は、江戸時代に九州と陸続きになっている島で発見された。この島の名を答えなさい。 [16]
- ③ このころ、中国では、日本のことを何と呼んでいたか。漢字 1 字で答えなさい。 [17]
- (3) 中国の歴史書に記されている、女王卑弥呼によって治められていた国を何というか。 [18]
- (4) 卑弥呼が使いを送ったころ、中国は大きく 3 つに分かれていた。このうち、卑弥呼が使いを送った王朝の名を答えなさい。 [19]

5. 古墳時代

- (1) 3 世紀の後半には、現在の奈良県にある（ ）地方を中心に（ ）政権が成立した。（ ）に共通してあてはまる語句を答えなさい。 [20]
- (2) (1)の政権の王は、ほかの地域の王を従えて勢力を広げ、何と呼ばれるようになったか。 [21]
- (3) 円形と四角形を組み合わせた形の古墳を何というか。 [22]
- (4) 右の図は、大阪府に位置する日本最大の古墳を表しており、この古墳は世界でも最大級の墓とされる。この古墳は何と呼ばれているか。 [23]
- (5) 古墳の頂上やまわりに置かれた、家や馬、人などをかたどった素焼きの土器を何というか。 [24]
- (6) 右の略地図は 5 世紀ごろの朝鮮半島のようすを表している。地図中に※で示した王朝の名を答えなさい。 [25]
- (7) 5 世紀ごろ、朝鮮半島の南部には、多くの小国に分かれている地域があり、日本はこの地域と強く結びついていた。この地域を何というか。 [26]
- (8) 中国や朝鮮から一族でまとまって日本に移り住んだ人々を何というか。 [27]
- (9) 5 世紀ごろに、高い温度をつくりだすことのできるのほりがまとともに、灰色がかった、かたい土器をつくる技術が朝鮮半島から伝わった。この土器を何というか。 [28]

